

2021年2月 教会行事予定表		
	曜	午 前 午 後
1	月	
2	火	
3	水	
4	木	入門講座 18:00
5	金	入門講座（登別教会）10:00
6	土	ミサ 10:00 運営委員会（ミサ後）
7	日	ミサ 9:30 太平洋地区
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	入門講座 18:00
12	金	入門講座（登別教会）10:00
13	土	ミサ 10:00 山口厚子様追悼式
14	日	集会祭儀 9:30 蘭岳地区
15	月	ベネディクト幼稚園卒園感謝ミサ 10:00
16	火	
17	水	灰の水曜日ミサ 18:00
18	木	入門講座 18:00
19	金	入門講座（登別教会）10:00
20	土	ミサ 10:00
21	日	ミサ9:30 楽山地区
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	入門講座 18:00
26	金	入門講座（登別教会）10:00 カトリック学園理事会
27	土	ミサ 10:00
28	日	集会祭儀 9:30 白鳥地区



2021年 土曜日のミサのご案内
土曜日10:00ミサの案内です。
○印はミサがあります。×はお休みです。
なお、ミサの参加は地区を問いません。

	1月	2月
第1	2日 ○	6日 ○
第2	9日 ○	13日 ○
第3	16日 ○	20日 ○
第4	23日 ○	27日 ○
第5	30日 ○	

2021年 ミサ・集会祭儀のご案内
ミサ・集会祭儀の参加地区ですが、都合により参加することもできます。

	項目	1月	2月	3月
1週	ミサ	蘭岳	太平洋	白鳥
2週	集会	楽山	蘭岳	太平洋
3週	ミサ	白鳥	楽山	蘭岳
4週	集会	太平洋	白鳥	楽山
5週	ミサ	楽山 太平洋		

2021
1/17

ひとつになるう

カトリック東室蘭教会広報誌 毎月第2日曜発行

〒050-0073
室蘭市宮の森町4-9-7
0143-44-3851

教皇フランシスコ 「ヨセフ年」を宣言 ヨセフ年 2020年12月8日～2021年12月8日

教皇フランシスコは12月8日、聖ヨセフがカトリック教会の保護者として宣言されてから150年を迎えるにあたって、2020年12月8日から2021年を「ヨセフ年」とすることを宣言しました。

教皇は同日、使徒的書簡「パトリス・コルデ」（父親の心で）を発表し、イエスの義父としての聖ヨセフの優しさやあふれる愛、神からの召命への従順さ、父親としてあらゆることを受容し、創造性を持って行動した勇氣、質素な労働者としての姿、目立つことがなかった生き方に触れています。聖ヨセフは「執りなしの人、苦難の時に支え、導いてくれる人」だと教皇は記しています。

使徒的書簡は福者ピオ9世教皇が1870年12月8日に聖ヨセフを「カトリック教会の保護者」と宣言してから150年を記念して発表されました。教皇フランシスコは使徒的書簡で、新型コロナウイルスのパンデミックが続く中で、聖ヨセフが示してくれているのは、日々の困難を耐え忍び、希望を示しているが、決して目立つことのない「普通の人々」の大切さだと強調しています。



—KSさんの思い出に—
新型コロナウイルスが世界を騒がせるずっと前のことだ。僕はソラノ村の修道院の日曜日のミサに通

い始めた。修道院というところは外から入れないのかと思ったら信者はもちろん、誰でもミサに出てよいそうだ。ミサのあとには聖堂から居間に場所を移して聖書を読む会というのがあって、修道士のブラザーブラッドに誘われてこれにも参加した。ブラッドさんはひょろりと背の高いアメリカ人だ。ふだんは修道院でパンを焼くのが仕事で、僕も食べてみたけれど、日本の「ふわふわ」「もっちり」とは違う、ずっしり重い全粒粉のドイツ風のパンで、薄切りにしてジャムをのせて食べるとしみじみと美味しかった。驚いたことに、いくら美味しいといっても修道院パンとジャムをネットで申し込んで、パンとジャム代の他に送料を払ってまでも買いたいという人がたくさんいるらしい。それでブラッドさんとジャム担当のトーマス神父はたいそう忙しく、毎日祈りの時間が終ると聖堂から駆け出すようにパン焼き場と

台所に向い（また祈りの鐘が鳴ると聖堂に戻って澄まし顔で歌ったり祈ったりして）、「クロネコ」でパンを全国に送りだして稼いでいた。ブラッドさんも、トーマス神父も、他の修道士たちも、そして修道院に来る人たちは皆个性的で面白い人たちで、パンも美味しいし、僕は修道院に通うのが楽しみになった。

しかし、一人だけ个性的すぎる人物がいた。それがダビデさんだ。ダビデさんは修道士ではなくて通ってくる信者で、若い頃に洗礼を受けていてダビデというのは洗礼名だと言っていた。聖書の会で、ダビデさんが得意げに自分の呼び名の由来を話すと、ブラザーブラッドはダビデが出てくる箇所を教えてくれた。聖書のダビデはカッコいい若者だ。そのうえ豎琴が上手で戦にも強い。こっちのダビデさんは40歳すぎで、自分のことばかり一方的に話す、髪はボサボサ（どうも随分洗っていないみたい）で、くたびれたしわくちの服、その上ブツブツ小声で独り言を言ったり、急にニヤニヤしたりするものだから、はじめは不気味だったが、僕はだんだんうんざりしてしまった。

ダビデさんは、ミサ、聖書の会が終って他の人たちが帰っても修道院に残っていて、聞くとところによると、修道院で当然のように昼ご飯を出してもらい、修道院の庭をぶらぶらして、夕方の祈りでは大声で修道士たちと一緒に歌って、夕食も食べて、そして夜の最後の祈りにまで出てようやく帰るという話だった。修道院に長居するのは僕には関係ないけど、どうしてダビデさんをそんなに甘やかすのか気になって、あるときブラザーブラッドに「迷惑じゃないんですか、ダビデさんは」と聞いてみたら、「ああ、迷惑！日本の霊性ですね。でもダビデさんのパン窯はとても難しいですから」となんだかよく分らない返事だった。だいたいダビデさんはパン窯なんかもっていないのに。

ダビデさんは気まぐれというのか、ミサの途中にふっといなくなってしまうこともあったし、一ヶ月くらい修道院に現れないこともあった。けれども、僕が修道院ミサに通い始めて一年ほどだった頃、ダビデさんはぱったりと修道院に姿を見せなくなった。ブラザーブラッドはダビデさんがいなくて寂し

そうだったけど、僕は寂しいどころか、ほっとしていた。

半年くらいして、ブラザーブラッドがミサの後、僕の方に大股でやってきて「昨日不思議なことがありましたよ」と話し出した。

「修道院に、隣町のユリノ町に住む青年からメールが来たんです。その青年は難しい病気でね、もう何年もベッドに寝たきりなのです。そして彼の家の前の道を、毎週日曜日の夜に、ソラノ村の方向から歌をうたいながら歩いて来る人がいたんですね。その歌になんとか不思議と心が慰められていたと言っていました。けれども半年くらい前から歌う人が来なくなりました。残念だし、なんだか気になったのでソラノ村に教会がないかを調べて、修道院をみつけたそうなんです」

そしてブラッドさんは嬉しそうに付け加えた。

「私は昨日その青年の家を訪ねてきました。彼はね、よく聖歌を覚えていましたよ。『サルヴェ・マーテル』『キリストの平和』『ごらんよ空の鳥』なんかをね。二人で一緒に歌いました。来週も行く約束をしましたから、今度一緒に行きましょう」

僕はブラザーブラッドが話すのを、下を向いて黙ってきいていた。

ダビデさんは車を持っていなかったから、修道院から夜道をずっと歩いて帰っていたのだ。修道院でうたった歌を、一人で大きな声で歌いながら。本人も誰も知らないで、ひとりぼっちの病人を歌でずっと励ましていたのだ。

「ユリノ町の青年」のところに、一人だけでも僕は行くようになった。修道院のミサのこと、ブラッドさんのパンのこと、ダビデさんのこと、それからいろんなことを話し合った。一年もたたないうちに、彼は僕よりも早く、「ヨナタン」を洗礼名にきめて（「おお、ダビデの親友、ヨナタンですね。とてもよい名前を選びましたね」とブラザーブラッドは喜んだ）洗礼を受けた。

僕はダビデさんのことを忘れることはないだろう。そして今でも、僕は（ヨナタンもブラザーブラッドも）、ダビデさんがまた、ミサにふらりと現れないかと待っている。

2020年度第9回運営委員会 議事録

2021年1月9日(土)11:00～12:20

議事録 1. は、開催日時は表題のとおりです。議事録 3. は出席者名で省略します。

3. 報 告 3.1 1月、2月の予定

1月

3 日(日) 主の公現ミサ10:00 ミサ後新年交礼会
9 日(土) ミサ10:00 ミサ後運営委員会
10日(日) 主の洗礼 集会祭儀9:30 クリスマス飾り片付け
14日(木) 入門講座再開 午後6時～
17日(日) 年間第二主日 ミサ9:30
24日(日) 年間第三主日 集会祭儀 9:30
31日(日) 年間第四主日 ミサ9:30 楽山・太平洋地区参加

2月

2日(火) 主の奉献の祝日
6日(土) ミサ10:00 ミサ後運営委員会
7日(日) 年間第五主日 ミサ9:30
14日(日) 年間第六主日 集会祭儀 9:30
17日(水) 灰の水曜日 ミサ18:00
21日(日) 四旬節第一主日 ミサ9:30
28日(日) 四旬節第二主日 集会祭儀 9:30
3月6日(土) ミサ10:00 ミサ後運営委員会
3月7日(日) 四旬節第三主日 ミサ9:30 ミサ後黙想会
ミサ14:00 ミサ後黙想会

3.2 財務報告 コロナ禍の中では順調に推移している。

4. 議 事

4.1 灰の水曜日のミサの対応について

2月17日午後6時ミサ、参加は特に制限せず。

4.2 次年度の役員構成について

コロナのため役員選挙の実施が難しいので、コロナ沈静化まで三役(運営委員長、副委員長、監事)をはじめ全役員留任を基本とした方が良いと思われるが、高科委員長欠席のため、ライヤ神父様に対応をお願いした。

4.3 今年度の教会総会について

総会資料等の準備は進めるが、総会の開催が難しい場合は、運営委員会で審議し、総会に代える ことを了解した。

4.4 四旬節の黙想会、共同回心式について

待降節と同様、3月7日(日)に午前、午後の2部制として実施する。詳細は次回。

4.5 司教団提案の新しい集会祭儀の式次第について

資料にもとづき議論し、いろいろ意見があったので、資料の修正を岩泉さんをお願いした。今後 の取り扱いは未定だが、新しい葉に基づき実施することも良しとし、試用の結果を後日検討する。

4.6 資料の購入について

「潜伏キリシタン図譜」の購入について審議したが、内容が良く分からないので、もう少し資料を収集し、来月再審議することとした。

4.7 今後の運営委員会の開催日について

信徒間の情報の共有のためにも、可能な限り全役員の出席で運営委員会を開催することが望まれるので、今後の運営委員会は第一土曜日のミサ後に開催することを了解した。

5. 司祭の予定

5.1 ライヤ師の予定(1月、2月)

2/13 山口厚子様追悼式 10:00～ 2/15 ベネディクト幼稚園卒園感謝ミサ 10:00～
2/26 カトリック学園理事会

5.2 ミサ・祭儀の予定

1/3 ライヤ師 1/10 集会 1/17 ライヤ師 1/24 集会 1/31 ライヤ師
2/7 ライヤ師 2/14 集会 2/21 ライヤ師 2/28 集会